



ウェルカム・トラストの 気候・健康戦略

第22回川崎国際エコビジネスフォーラム
2025年11月12日

ウェルカム・トラスト
気候変動・健康チーム（緩和担当）リサーチマネージャー
ライアン・リュン

私たちについて

ウェルカム・トラストは、あらゆる人々が直面する
差し迫った健康課題を、科学の力で解決することを目指す
独立した慈善財団です。



研究の推進・
投資

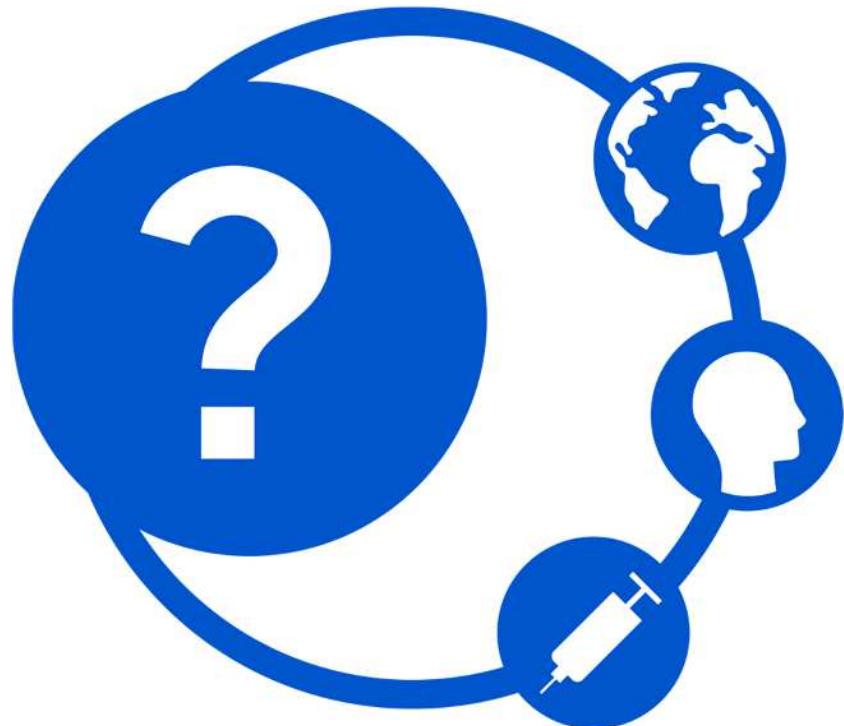


政策変革へ
の働きかけ



人々との
関わり

私たちは、4つの統合的なプログラムを通じて使命を果たしています。



好奇心を原動力とする研究

生命・健康・ウェルビーイングに関する新たな知識を切り拓く探索研究

解決志向の取り組み

私たち全員が直面する最も緊急の健康課題に対応するプログラム：

感染症

メンタルヘルス

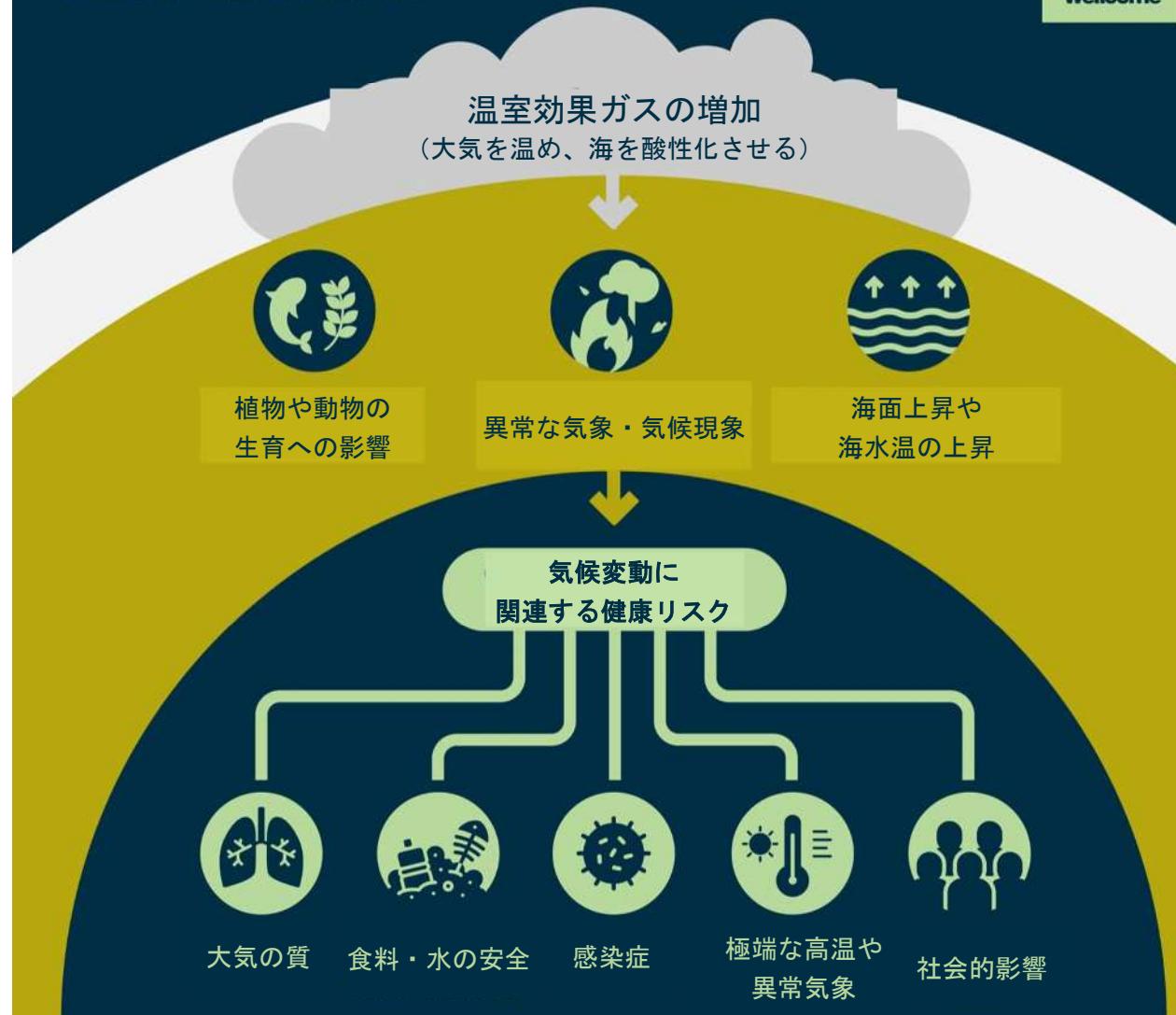
気候と健康

気候と健康

気候の危機は、
健康の危機である。

wellcome.org | @wellcometrust

気候変動が私たちの健康に及ぼす影響



ミッション

健康を軸にした 気候変動対策

目標

5

1

学際的な気候・健康の知識と行動のエコシステムにより、気候変動による健康影響への緊急な世界的対応を可能にする

2

堅実で実践的な世界的気候・健康エビデンスが、状況に応じた気候行動を導く

3

気候・健康のエビデンスが、意思決定者の行動を促す

G7各国における健康の共益を伴う気候緩和政策の推進

目的と背景

2022年10月に公募開始、2023年2月に採択

G7各国の政策立案者が、食料システム、エネルギー、交通、住宅部門における変革的な健康中心の政策変化を、進められるよう、エビデンスを提供することを目指す

本公募は、歴史的排出量が多く、経済規模の大きいG7各国を対象とした

研究のギャップ

気候変動緩和策の健康への便益に関するエビデンスを取り入れることで、緊急の気候行動を促せる可能性がある

ただし、このエビデンスは意思決定者にとっていつも容易に入手できるとは限らない

活動内容

G7各国による既存または計画中の気候変動緩和策がもたらす健康への潜在的便益に関するエビデンスを生み出すため、研究者と政策担当者による10件の共同研究に総額1,760万ポンドを提供

内訳：英国5件、米国4件、日本1件

分野別：気候・エネルギー政策4件、食料システム3件、大気質3件



日本およびその他G7の都市における健全なネット・ゼロ移行のためのコベネフィットの活用：変革的変化に向けたスケーラブルなアプローチ、IGES（日本）エリック・ザスマン

日本の3つの自治体（川崎市、新潟市、八戸市）と連携し、気候計画に健康や関連する共益効果を組み込み、健康共益をもたらす都市の温暖化対策計画の強化を目指す。



ありがとうございました

r.leung@wellcome.org